

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 4 ※記入不要	提案機関名 農業振興課普及・経営班
要望問題 高齢・女性農業者向け疲労度判定補正值の算出	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、疲労度の調査方法が確立され、作業内容・作業時間で受ける疲労度が数値化されている。しかしながら、これらのデータは青壮年をもとに作成されており、近年割合が増加している高齢・女性農業者にそのまま数値を適応するには無理がある。 そこで、高齢・女性農業者に合わせた補正值を算出することで、男女・年齢にかかわらず疲労度を評価できるシステムを構築する。 また、現存する機器を用いて、簡易に疲労度を相対指数等によるチェックシステムを構築する。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所 (②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場) ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所 (⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場) ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等 ・年齢・性別に関わらない指標としてエネルギー代謝率（RMR）がよく用いられており、多くのデータが蓄積されています。また、消費エネルギー量は、エネルギー代謝率及び基礎代謝量（身長と体重より推定可能）より、年齢別・性別に算定することができます。次の資料を参考にしてください。 ・活動のエネルギー代謝（(財)労働科学研究所) ・農作業にともなう疲労を簡単にチェックするシステムは農作業学会などで次のような提案がされておりますが、評価方法として確立されておりません。 ①ステップテストの心拍数を基準にした農作業強度評価の新指標（金ら(茨城大学),農作業研究,77-87,2000,35,2) ②農作業に適した労働強度評価方法の開発(岩手県,平成9年～13年度成績書) なお、農作業計測の要望があれば農作業事例毎に測定項目、測定方法、使用機器などが異なりますので、個別に対応いたします。	
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	